

平成28年度
事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

学校法人 大阪成蹊学園

目 次

I. 法人の概要

1. 沿革
2. 設置学校
3. 役員・評議員
4. 志願者数及び入学者数
5. 在学学生等数
6. 教職員数

II. 経営計画における報告

1. 新設学科等の開設
2. 教育研究環境の向上
3. 将来構想の取組み
4. 学園各校の募集目標の達成
5. 就職率の目標達成
6. 平成28年度中期経営計画の収支目標の達成

III. 学校部門における報告

1. 高等教育機関
2. 大阪成蹊女子高等学校
3. 大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

IV. 財務の概要

1. 資金収支計算書
2. 事業活動収支計算書
3. 貸借対照表
4. 財務比率経年比較
5. 事業活動収支決算科目別割合
6. 学校法人会計の特徴及び企業会計との違い

I. 法人の概要

【建学の精神】 桃李不言下自成蹊

「成蹊」の名称は、中国の司馬遷の『史記』に由来しています。

「桃や李は何も言わないが、その美しい花や実にひかれて人が集まってくるので木の下には自然と小道(蹊)ができる」という意味です。

徳が高く、尊敬される人物のもとには徳を慕って人々が集まってくるという譬えです。

本学では、『史記』の一節であるこの言葉を「建学の精神」として、徳があり、人に慕われ、信頼される人を育てることを教育の目標としています。

建学の精神の行動指針として、『忠恕』の精神を定めています。

「忠」は誠実、「恕」は思いやりを表わし、誠を尽くし人の立場になって考え行動するという意味です。

本学では、建学の精神を実践するにあたり、「忠恕」を行動の指針としています。

1. 沿革

昭和 8年 4月	高等成蹊女学校 創設
昭和12年 4月	大阪高等成蹊女学校に校名変更
昭和13年 4月	財団法人 大阪成蹊学園 設立 大阪成蹊高等女学校 開設
昭和23年 4月	学制改革により大阪成蹊女子高等学校となる
昭和26年 3月	私立学校法制定により財団法人大阪成蹊学園から学校法人大阪成蹊学園となる
昭和26年 4月	大阪成蹊女子短期大学(国文科・家政科) 開設
昭和27年 4月	大阪成蹊学園こみち幼稚園 開設
昭和31年 4月	大阪成蹊女子短期大学初等教育科 新設
昭和38年 4月	大阪成蹊女子短期大学体育科 新設
昭和39年 4月	大阪成蹊女子短期大学英文科 新設
昭和42年 4月	大阪成蹊女子短期大学観光科、デザイン科 新設
昭和46年 4月	大阪成蹊女子短期大学初等教育科を児童教育学科に、国文、家政、体育、英文、観光各科をそれぞれ学科に改称
昭和50年 8月	幼稚園名を大阪成蹊女子短期大学附属こみち幼稚園に改称
平成14年 4月	成安造形短期大学を設置者変更により傘下に受入
平成15年 4月	大阪成蹊大学現代経営情報学部(大阪市東淀川区)、芸術学部(京都府長岡京市) 開設 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部(滋賀県大津市北比良) 開設 大阪成蹊女子短期大学を大阪成蹊短期大学(共学)に 幼稚園名を大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園に改称 大阪成蹊短期大学表現文化学科、経営会計学科を新設 大阪成蹊短期大学家政学科を総合生活学科に改称
平成18年 4月	大阪成蹊大学芸術学部美術・工芸学科、デザイン学科を情報デザイン学科、環境デザイン学科、美術学科に改組
平成23年 4月	大阪成蹊大学現代経営情報学部現代経営情報学科をマネジメント学部マネジメント学科に改称 大阪成蹊短期大学表現文化学科を創造文化学科に改称

平成24年 4月	大阪成蹊大学芸術学部を相川キャンパスに移転・統合 びわこ成蹊スポーツ大学大学院スポーツ学研究科 開設
平成26年 4月	大阪成蹊大学教育学部開設 大阪成蹊短期大学児童教育学科を幼児教育学科に改称 大阪成蹊短期大学創造文化学科をグローバルコミュニケーション学科に改称
平成27年 4月	大阪成蹊大学芸術学部美術学科を造形芸術学科に改称 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部スポーツ学科 開設
平成28年 4月	大阪成蹊大学マネジメント学部スポーツマネジメント学科 開設 大阪成蹊短期大学生活デザイン学科、調理・製菓学科、栄養学科 開設 大阪成蹊女子高等学校美術科 開設

2. 設置学校

学 校 名	学部・学科名	所 在 地
大阪成蹊大学 〔学長 武蔵野 實〕 平成25年 4月1日	マネジメント学部 マネジメント学科 スポーツマネジメント学科 芸術学部 造形芸術学科 教育学部 教育学科	大阪市東淀川区相川3-10-62
びわこ成蹊スポーツ大学 〔学長 嘉田 由紀子〕 平成26年 10月1日	大学院 スポーツ学研究科 スポーツ学部 スポーツ学科	滋賀県大津市北比良1204
大阪成蹊短期大学 〔学長 南 徹弘〕 平成27年 10月1日	幼児教育学科 観光学科 グローバルコミュニケーション学科 経営会計学科 生活デザイン学科 調理・製菓学科 栄養学科	大阪市東淀川区相川3-10-62
大阪成蹊女子高等学校 〔校長 紺野 昇〕 平成25年 4月1日	普通科 キャリア特進コース キャリア進学コース 幼児教育コース スポーツコース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース	大阪市東淀川区相川3-10-62
大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園 〔園長 東藤 弥生〕 平成26年 4月1日		大阪市東淀川区井高野4-8-8

(平成29年 3月31日現在)

3. 役員・評議員

【 役員 】

理事長	石 井 茂	総長
専務理事	佐 藤 英 夫	
常務理事	久 保 健	びわこ成蹊スポーツ大学事務局長
理事	武蔵野 實	大阪成蹊大学学長
理事	嘉 田 由紀子	びわこ成蹊スポーツ大学学長
理事	南 徹 弘	大阪成蹊短期大学学長
理事	紺 野 昇	大阪成蹊女子高等学校校長
理事	三 村 寛 一	大阪成蹊大学副学長・教育学部学部長
理事	國 方 太 司	大阪成蹊大学副学長・マネジメント学部学部長
理事	豊 田 則 成	びわこ成蹊スポーツ大学副学長・スポーツ学部学部長
理事	鳥 羽 賢 二	びわこ成蹊スポーツ大学副学長
理事	澤 田 克 之	大阪成蹊大学芸術学部学部長
理事	河 野 正 俊	理事長補佐
理事	磯 川 正 明	
理事	脇 阪 恵 博	
常任監事	山 中 俊 廣	
監事	湯 浅 光 章	
監事	早 川 芳 夫	

【 評議員 】 33名（理事長・学長・評議員選出理事含む）

（平成 29 年 3 月 31 日現在）

4. 志願者数及び入学者数 (単位:人)

●大阪成蹊大学

年度	学部 学科	マネジメント学部			芸術学部			教育学部	合計
		マネジメント学科	本・フ マナジ メント 学科		情報デザイン 学科	環境デザイン 学科	美術学科 (造形芸術 学科)		
27	入学定員	180		180			177	177	477
	志願者数	296		296			218	218	893
		7		7	0	1	1	2	9
	入学者数	190		190			187	187	497
28	入学定員	90	90	180			177	177	477
	志願者数	238	247	485			225	225	1,343
		3		3	2	0	3	5	12
	入学者数	90	109	199			183	183	511
29	入学定員	90	90	180			177	177	477
	志願者数	289	317	606			270	270	1,686
		4		4					5
	入学者数	93	111	204			191	191	517
		2		2					3

下段は3年次編入(外数)
 ※平成27年度より芸術学部情報デザイン学科・環境デザイン学科を募集停止し、美術学科から名称変更した造形芸術学科に各学科を統合
 ※平成28年度よりマネジメント学部スポーツマネジメント学科を設置

●びわこ成蹊スポーツ大学

年度	学部	スポーツ 学部	大学院
27	入学定員	280	10
	志願者数	922	8
		12	
	入学者数	350	8
28	入学定員	360	10
	志願者数	739	4
		9	
	入学者数	368	4
29	入学定員	360	10
	志願者数	657	8
	入学者数	374	8

下段は3年次編入(外数)

●大阪成蹊短期大学

年度	学科	総合生活 学科	幼児教育 学科	観光学科	グローバル コミュニケーション 学科	経営会計 学科	生活デザイン 学科	調理・製菓 学科	栄養学科	合計
27	入学定員	220	240	90	50	60				660
	志願者数	323	448	107	48	63				989
	入学者数	266	258	90	33	49				696
28	入学定員		300	90	30	50	50	120	120	760
	志願者数		353	105	43	54	58	148	143	904
	入学者数		282	88	32	48	49	129	116	744
29	入学定員		300	90	30	50	50	120	120	760
	志願者数		446	136	48	98	86	199	165	1,178
	入学者数		302	102	28	55	60	134	122	803

※平成28年度より総合生活学科を募集停止し、生活デザイン学科、調理・製菓学科、栄養学科を設置

●大阪成蹊女子高等学校

年度	学科	普通科					美術科	合計
		キャリア特進 コース	キャリア進学 コース	美術・イラスト・ アニメーションコース	幼児教育 コース	スポーツ コース		
27	募集定員	30	110	40	70	30		280
	志願者数	107	423	150	232	62		974
	入学者数	26	199	63	124	33		445
28	募集定員	30	140		80	30	60	340
	志願者数	180	629		367	63	245	1,484
	入学者数	55	282		191	41	119	688
29	募集定員	30	150		90	30	60	360
	志願者数	129	552(1)		274	54	206	1,215(1)
	入学者数	42	235(1)		147	27	98	549(1)

() 内は2年生への転入(外数)
 ※学期別定員(収容定員)は1833人
 ※平成28年度より美術科を設置し、募集定員を280人から340人に変更
 ※平成29年度より募集定員を340人から360人に変更

●こみち幼稚園

年度		3歳児
27	募集定員	80
	志願者数	84(3)
	入園児数	77(2)
28	募集定員	90
	志願者数	78(5)
	入園児数	71(5)
29	募集定員	90
	志願者数	76(2)
	入園児数	73(2)

() 内は3歳児5歳児の計(外数)

5. 在学学生等数 (単位:人)

上段はH27.5.1現在 下段はH28.5.1現在

●大阪成蹊大学

学部		マネジメント学部			芸術学部				教育学部	合計	
		マネジメント学科	スポーツマネジメント学科		情報デザイン学科	環境デザイン学科	美術学科	造形芸術学科	教育学科		
1回生	27年度	190	/	190	/	/	/	187	187	120	497
	28年度	90	109	199	/	/	/	183	183	129	511
2回生	27年度	200	/	200	139	23	28	/	190	118	508
	28年度	184	/	184	/	/	/	176	176	118	478
3回生	27年度	142	/	142	113	24	24	/	161	/	303
	28年度	182	/	182	137	21	27	/	185	118	485
4回生	27年度	171	/	171	80	34	16	/	130	/	301
	28年度	154	/	154	116	28	25	/	169	/	323
合計	27年度	703	/	703	332	81	68	187	668	238	1,609
	28年度	610	109	719	253	49	52	359	713	365	1,797

※平成27年度より芸術学部情報デザイン学科・環境デザイン学科を募集停止し、美術学科から名称変更した造形芸術学科に各学科を統合

※平成28年度よりマネジメント学部スポーツマネジメント学科を設置

●びわこ成蹊スポーツ大学

学部		スポーツ学部			大学院	合計
		生涯スポーツ学科	競技スポーツ学科	スポーツ学科		
1年次生	27年度	/	/	350	350	8
	28年度	/	/	368	368	4
2年次生	27年度	148	191	/	339	11
	28年度	/	/	345	345	8
3年次生	27年度	145	190	/	335	/
	28年度	147	181	/	328	/
4年次生	27年度	137	160	/	297	/
	28年度	153	200	/	353	/
合計	27年度	430	541	350	1,321	19
	28年度	300	381	713	1,394	12

※平成27年度よりスポーツ学部生涯スポーツ学科・競技スポーツ学科募集停止、スポーツ学科を開設

●大阪成蹊短期大学

学科		総合生活学科	幼児教育学科	観光学科	グローバルコミュニケーション学科	経営会計学科	生活デザイン学科	調理・製菓学科	栄養学科	合計
1回生	27年度	268	258	90	34	50	/	/	/	700
	28年度	4	284	88	34	48	49	129	116	752
2回生	27年度	271	247	95	47	61	/	/	/	721
	28年度	248	252	84	34	50	/	/	/	668
合計	27年度	539	505	185	81	111	/	/	/	1,421
	28年度	252	536	172	68	98	49	129	116	1,420

※平成28年度より総合生活学科を募集停止し、生活デザイン学科、調理・製菓学科、栄養学科を設置

●大阪成蹊女子高等学校

学科/コース		普通科					美術科	合計
		キャリア特進コース	キャリア進学コース	美術・イラスト・アニメーションコース	幼児教育コース	スポーツコース		
1年生	27年度	26	199	63	124	33	445	/
	28年度	55	282	/	191	42	570	119
2年生	27年度	28	208	75	173	32	516	/
	28年度	26	196	60	121	33	436	/
3年生	27年度	15	184	76	117	22	414	/
	28年度	25	206	73	170	32	506	/
合計	27年度	69	591	214	414	87	1,375	0
	28年度	106	684	133	482	107	1,512	119

※平成28年度より美術科を設置

●こみち幼稚園

園児		
3歳児	27年度	77
	28年度	71
4歳児	27年度	99
	28年度	78
5歳児	27年度	93
	28年度	97
合計	27年度	269
	28年度	246

6. 教職員数 (単位:人)

上段は H27.5.1 現在 下段は H28.5.1 現在

●教員数

		大阪成蹊大学			大阪成蹊 短期大学	びわこ成蹊 スポーツ 大学	大阪成蹊 女子高等 学校	こみち 幼稚園	合計	
		リベラル 学部	芸術学部	教育学部						
専任教員	27年度	38	25	19	82	58	47	62	15	264
	28年度	34	25	21	80	66	52	71	16	285
非常勤教員	27年度	22	48	12	82	102	27	41	0	252
	28年度	29	53	33	115	111	24	45	1	296
合計	27年度	60	73	31	164	160	74	103	15	516
	28年度	63	78	54	195	177	76	116	17	581

●職員数

		大阪成蹊大学・ 大阪成蹊短期大学	びわこ成蹊 スポーツ 大学	大阪成蹊 女子高等 学校	こみち 幼稚園	法人	合計
		専任職員	27年度	71	28	9	2
	28年度	74	31	10	2	22	139
嘱託・臨時 職員等	27年度	62	26	8	0	8	104
	28年度	68	23	6	0	7	104
合計	27年度	133	54	17	2	25	231
	28年度	142	54	16	2	29	243

●教職員数

専任教員	27年度	264
	28年度	285
専任職員	27年度	127
	28年度	139
非常勤教員	27年度	252
	28年度	296
嘱託・臨時 職員等	27年度	104
	28年度	104
合計	27年度	747
	28年度	824

II. 経営計画における報告

1. 新設学科等の開設

(1) 大阪成蹊大学

①スポーツマネジメント学科の開設（入学定員 90 人）

マネジメント学科スポーツビジネスコースの教員組織をベースに、新規採用教授 1 人、短期大学からの異動 1 人を加え、9 人の教員で教育研究体制を整え開設、109 人の入学者を迎えた。（平成 29 年度は 111 人）

(2) びわこ成蹊スポーツ大学

①入学定員増（80 人増、280 人→360 人）

スポーツ学部スポーツ学科の入学定員増を行い、平成 28 年度は 368 人の入学者を迎えた。（平成 29 年度は 374 人）

教員 3 人、職員 3 人を増員して教育研究体制を整えた。

(3) 大阪成蹊短期大学

①入学定員増（100 人増、660 人→760 人）

短期大学の入学定員増を行い、平成 28 年度は 744 人の入学者を迎えた。（平成 29 年度は 803 人）

教員 8 人を増員し、教育研究体制を整えた。

幼児教育学科 60 人増（240 人→300 人）、元総合生活学科関連 70 人増（生活デザイン学科 50 人、調理・製菓学科 120 人、栄養学科 120 人）、グローバルコミュニケーション学科 20 人減、経営会計学科 10 人減による。

②生活デザイン学科の開設（入学定員 50 人）

総合生活学科の生活デザインコースをベースに、教員組織を移行し学科へと改組し、49 人の入学者を迎えた。（平成 29 年度は 60 人）

③調理・製菓学科の開設（入学定員 120 人）

総合生活学科の食物コースをベースに、教員組織を移行し学科へと改組し、129 人の入学者を迎えた。（平成 29 年度は 134 人）

④栄養学科の開設（入学定員 120 人）

総合生活学科の栄養コースをベースに、教員組織を移行し学科へと改組し、116 人の入学者を迎えた。（平成 29 年度は 122 人）

2. 教育研究環境の向上

(1) 相川キャンパス

①本館、中央館、西館外壁塗装等美化対策

②高校デザイン棟新築

(2) びわこ成蹊スポーツ大学

①多目的グラウンド及び学生駐車場の新設

②多目的グラウンド内クラブハウス新築

③アスリート寮 MUSASHI の開設

④サッカーフィールドの人工芝張替え

3. 将来構想の取組み（新設大学院・新学科の申請等）

(1) 大阪成蹊大学大学院教育学研究科教育学専攻（修士課程）の設置認可申請

平成 30 年 4 月開設予定で入学定員 5 人、修業年限 2 年の大学院の設置認可申請を行った。平成 29 年 8 月認可の予定。

(2) 大阪成蹊大学収容定員増に係る学則変更の認可申請（入学定員 120 人増、477 人→597 人）

平成 30 年 4 月開設予定で入学定員を 120 人増する認可申請を行った。平成 29 年 6 月中旬認可の予定。

(3) 大阪成蹊大学マネジメント学部国際観光ビジネス学科（入学定員 60 人）の届出書類の提出

平成 30 年 4 月開設予定で学科の新設を届出。平成 29 年 6 月末日届出受理の予定。

4. 学園各校の募集目標の達成（単位：人）

平成 28 年度の募集目標を以下の通り達成した。

●大阪成蹊大学

年度	学部 学科	マネジメント学部			芸術学部	教育学部	合計
		マネジメント学科	スポーツ マネジメント 学科				
29	入学定員	90	90	180	177	120	477
	志願者数	289	317	606	270	810	1,686
	入学者数	93	111	204	191	122	517

下段は3年次編入（外数）

●びわこ成蹊スポーツ大学

年度	学部	スポーツ 学部	大学院
29	入学定員	360	10
	志願者数	657	8
	入学者数	374	8

下段は3年次編入（外数）下段は3年次編入（外数）

●大阪成蹊短期大学

年度	学科	幼児教育 学科	観光学科	グローバル コミュニ ケーション 学科	経営会計 学科	生活デザイン 学科	調理・製菓 学科	栄養学科	合計
29	入学定員	300	90	30	50	50	120	120	760
	志願者数	446	136	48	98	86	199	165	1,178
	入学者数	302	102	28	55	60	134	122	803

●大阪成蹊女子高等学校

年度	学科	普通科				美術科	合計
		キャリア特進 コース	キャリア進学 コース	幼児教育 コース	スポーツ コース		
29	募集定員	30	150	90	30	60	360
	志願者数	129	552(1)	274	54	206	1,215(1)
	入学者数	42	235(1)	147	27	98	549(1)

() 内は2年生への転入（外数）

●こみち幼稚園

年度		3 歳児
29	入学定員	—
	志願者数	76 (2)
	入園児数	73 (2)

() 内は4歳児5歳児の計（外数）

※こみち幼稚園は入学定員ではなく、
収容定員（270人）で管理している。

5. 就職率の目標達成

平成 28 年度卒業生の就職内定率

大阪成蹊大学	びわこ 成蹊 スポーツ大学		大阪成蹊短期大学						学園合計	
	マネジメント 学部	芸術学部	幼児教育 学科	総合生活 学科	観光学科	グローバル コミュニケーション 学科	経営会計 学科			
98.2%	98.2%	98.2%	99.6%	99.7%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%	97.8%	99.4%

6. 平成28年度中期経営計画の収支目標の達成

平成28年度の収支目標を下記のとおり達成した。

(単位：百万円)

	平成28年度	
		計画比
学生生徒等納付金	6,246	103
その他	1,978	210
教育活動収入合計	8,224	313
人件費	4,745	△ 44
教育研究経費	2,240	30
管理経費ほか	633	21
教育活動支出合計	7,619	8
教育活動収支差額	605	305
基本金組入前当年度収支差額	549	319

Ⅲ. 学校部門における報告

1. 高等教育機関

1-1. 大阪成蹊学園に設置の各高等教育機関における教育の質保証に向けた取組みについて

高等教育研究所及び、理事長・総長、専務理事、常務理事、学長、副学長、学部長、学科長、高等教育研究所研究員、幹部職員等により構成する教学改革会議が昨年度に引き続き中心となり、平成 28 年度においても高等教育機関の質の保証に向けた教学改革を推し進めた。とりわけ平成 28 年度は、各大学、短期大学における 3 つのポリシーの改訂を行った上で、大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学では 20 の教学改革プロジェクトを新たに立ち上げ、各プロジェクトチームには、高等教育研究所研究員のほか、各大学・短期大学の才気溢れる若手教員、豊富な教育研究実績を持つ中堅・ベテラン教員及び職員を配置した。各プロジェクトでは、現状の課題の抽出と改革案の策定を中心に取り組んできたが、いくつかのプロジェクトでは既に大きな変革に着手し始めている。例えば、「アドミッションポリシーと入試方法の整合」プロジェクトでは、入試における面接方法の抜本的な見直しを図った。「シラバスの一層の充実」プロジェクトでは、シラバスの記載項目の大幅な追加と全教員に配布する「シラバス作成の手引き」の改訂、「専門演習・卒業研究指導の充実」プロジェクトでは、「卒業研究指導ガイドライン」の作成と試行などに取り組んだ。びわこ成蹊スポーツ大学においても同様に、シラバスの全面的な見直しや成績評価基準の標準化、授業評価アンケートの運用方法の見直しなど、教育の質を高めるプロジェクトを組成し、教学改革を推進した。平成 28 年度の取組みをもとに、平成 29 年度はより多くのプロジェクトが企画段階から実行段階へと移行していくこととなる。

さらに、プロジェクトを中心とする教学改革のほか、全学的にグローバル人材の育成を進めるため各校の学部・学科の優れた海外研修プログラムに対する奨学金制度の創設、正課外での学習支援・学習相談環境を充実するラーニングコモンズの始動、教職希望者の多いびわこ成蹊スポーツ大学での平成 29 年度の教職支援室設置に向けて、学修環境を充実するための施策も実施した。

上記の取組みのほか、びわこ成蹊スポーツ大学では大学機関別認証評価を受審し、適格の認定を受けた。また、大阪成蹊大学では平成 29 年度を受審、大阪成蹊短期大学では平成 31 年度を受審を見据えて自己点検・評価の取組みを行なっている。

1-2. 各校の取組み

(1) 「教育の充実」に関する取組み

① 大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学

- ア アクティブラーニングを全授業で導入した
- イ ディプロマポリシーに基づいた初年次教育、キャリア教育を行った
- ウ グローバル人材育成のための海外研修を積極的に実施した
- エ ディプロマポリシーにもとづいたシラバスを作成した
- オ 高大連携の推進を図った
- カ 学外連携による実践力や就業力、課題解決力を高める授業を実施した
- キ ラーニングコモンズの活用による正課外教育の充実及び授業外学習時間の拡大を図った

② びわこ成蹊スポーツ大学

- ア アクティブラーニング授業を積極的に実施した
- イ ディプロマポリシーにもとづいたシラバスを作成した
- ウ 外部連携による実践力を高める教育を展開した

(2) 「学生指導の強化」に関する取組み

① 大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学

- ア 「学園ブランド力向上運動」を進化させパーソナルブランドマネジメントを展開した
- イ アドバイザー教員制度、チューター制度による指導、支援を強化した
- ウ 学生課、学生支援センター、留学生支援センターが連携し、学生への指導、支援を強化した
- エ クラブ、サークル、ボランティアなど課外活動の活性化を図った
- オ 学生の地域行事、学外イベントなどへの積極的な参加を支援した

② びわこ成蹊スポーツ大学

- ア 学生の修学状況の随時把握による個別指導、支援を徹底した
- イ クラブ、サークル、ボランティアなど課外活動の活性化を推進した
- ウ 地域と協同して女性アスリート育成の推進に取り組んだ
- エ クラブ強化の方針を定めて準備に取り組んだ

(3) 「就職支援の強化」に関する取組み

① 大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学

- ア 学部、学科の特色に合わせた就職支援を実施した
- イ 学内個別セミナーを開催した
- ウ 就職に活きる資格取得支援の強化、SPI テストなど就職対策を実施した
- エ インターンシップを促進した

② びわこ成蹊スポーツ大学

- ア キャリア意識醸成に向けた年次別のガイダンスを開催した
- イ 学内個別セミナーを開催した
- ウ 就職希望種別の対策講座を開設した
- エ 地域企業との関係強化による就職先を開拓した

(4) 「募集の活性化」に関する取組み

① 大阪成蹊大学、大阪成蹊短期大学

- ア 教職員による高校訪問を実施した
- イ 学部、学科の特色を活かした、オープンキャンパスを実施した
- ウ ホームページなど、学校の魅力を伝える広報ツールを強化した

② びわこ成蹊スポーツ大学

- ア 教職員による高校訪問を実施した
- イ 特別講演等を盛り込んだオープンキャンパスを実施した
- ウ ホームページなど、学校の魅力を伝える広報ツールの強化した

2. 大阪成蹊女子高等学校

(1) 「学校教育力の向上」に関する取組み

① 学力向上に向けた教員への指導力強化対策

管理職による授業観察に加えて、生徒授業アンケートによる客観的な数値評価を用いた教員の自己点検・自己評価を行った。また、教科指導区分でアンケート評価の高い優秀教員6名を表彰し、教員の意欲の向上と授業改善の意識啓発に取組み成果につなげた。

② 「人間力(社会人基礎力)育成」に関する取組み

LHRでの人権研修のほか、校長講話、生活指導部長訓話等の中で、「他者を敬い、自己を肯定する」人権尊重の指導を継続した。なお、本年度からキャリア進学コース1年生全員に学校設定科目「ホスピタリティ」を開講し、基礎的な福祉技術に加えて、福祉マインドの育成を試みた。

③「グローバルなキャリア教育の推進」に関する取組み

台湾の提携校である金陵女子高級中学と第1回国際交流事業を実施した。両校の相互の授業参加や、英語でのプレゼン発表など、国際交流活動として充実した内容となり、大きな成果があった。また教育系コースの学びの充実をねらいとして、ユネスコスクールへの加盟手続きを行い、現在、本部フランスの国際ユネスコ委員会の審査中である。

④「使える英語力の向上」に関する取組み

平成28年度から3年生を除き、英語検定をスコア型のGTECに変更した。毎年実施するGTECのスコアの伸びを検証して、GTEC講習の充実を図る。また、少人数制のALT(外国語指導助手)を活用した英語表現授業は、生徒に大変好評であり、次年度は、ALTを複数配置して、2年生全コースで実施する。

⑤「学科・コースの特色ある教育内容の充実」に関する取組み

平成28年度、専門学科の美術科(アート・イラスト・アニメーションコース)を立ち上げた。本年度は入学者が増加し、2クラスから4クラスとした。

⑥「学園内の高大・高短連携授業の充実」に関する取組み

平成28年度の学園内連携授業は、土曜日に実施したキャリア進学コース、アート・イラスト・アニメーションコースを中心に拡大し、53講座へと充実を図った。学園内連携授業を継続した成果として、卒業生503名中、273名が内部進学した。在籍比で内部進学率は55%、進学希望者では64%であった。

(2)「募集対策強化策」に関する取組み

各コースの説明研修会による教員のプレゼン力向上に加え、グローバル教育等のパンフレットを作成して、コースの学びの充実、特色ある教育内容等をアピールした結果、近年では昨年に次ぐ第2位となる549名が入学した。また、複数のTV番組で学校紹介ビデオが放映されたこともあり、本校のホームページ上のビデオのアクセス件数は、現在6ヶ月あまりで1万件を超えている。

(3)「転退学者減少」に向けた取組み

「生徒一人ひとりを大切する」、「転退学者を出さない」という全教職員の姿勢のもとで、サポートルームの活用とカウンセリング協議会の個別生徒対応が効果を上げ、在籍1,631名中、退学者10名(0.61%)、転学者17名(1.04%)、転退学者計27名(1.65%)に抑制することができた。

3. 大阪成蹊短期大学附属こみち幼稚園

(1)「7つの特徴を柱にした教育活動」に関する取組み

こみち幼稚園の7つの特徴を柱に、特色ある教育活動を行いながら質の高い幼児教育の実践を目指した。

①心の教育・人権教育の充実

保育の具体的な場面を通じて、個々の子供の人権を守り、差別に繋がる問題点を見つけ出し、適切な対応を行った。

②基本的な生活習慣の形成・道徳性の芽生えの育成

基本的な生活習慣や社会生活を送る上でのルールやマナー指導について、繰り返し指導を行った。

③健康・安全教育の充実

1年を通じての避難訓練や保護者と連携した防災訓練の実施により、安全体制の強化を図った。

④食育の推進

保護者対象の食育講話を実施し、家庭での食育について学ぶ機会を設けることができた。

⑤自然環境と体験学習の充実

飼育ケースやサークルを準備し、幼児が自然を身近に感じられる環境を整えた。

⑥音楽的・運動的・造形表現的遊びの充実

各指導講師と教員が連携を図り、日々の教育活動との関連を意識しながら、幼児にとって豊かな情操の経験となるよう取り組んだ。

⑦大学・短期大学との連携プログラムの推進

絵画・造形・スポーツなど専門性を活かした分野で交流を図った。

(2)「教員の資質向上」に関する取組み

保育記録の動画をもとに、幼児の育ちについての実践事例を研究し、教員の保育力向上の取組みを行った。

(3)「地域と密着した取組み」の強化

地元中学校生徒の体験学習の受け入れや介護福祉施設への慰問、地域の子育て支援サークル活動への協力など、地域連携を深めた。

IV. 財務の概要

資金収支計算書

2016 (平成28) 年 4月 1日 から
2017 (平成29) 年 3月31日 まで

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	6,248,400,000	6,245,909,308	2,490,692
手数料収入	111,378,000	109,483,648	1,894,352
寄付金収入	104,541,000	105,686,352	△ 1,145,352
補助金収入	1,540,438,000	1,573,593,724	△ 33,155,724
国庫補助金収入	609,770,000	630,026,000	△ 20,256,000
地方公共団体補助金	930,668,000	943,567,724	△ 12,899,724
資産売却収入	560,000	560,000	0
付随事業・収益事業収入	36,843,000	37,168,223	△ 325,223
受取利息・配当金収入	972,000	660,934	311,066
雑収入	154,832,000	160,199,389	△ 5,367,389
借入金等収入	871,000,000	871,000,000	0
前受金収入	2,037,675,000	2,170,837,879	△ 133,162,879
その他の収入	852,469,000	910,914,604	△ 58,445,604
資金収入調整勘定	△ 2,197,136,000	△ 2,212,065,922	14,929,922
前年度繰越支払資金	3,664,315,000	3,664,315,342	△ 342
収入の部 合計	13,426,287,000	13,638,263,481	△ 211,976,481
支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	4,859,050,000	4,833,839,988	25,210,012
教育研究経費支出	1,705,387,000	1,660,689,329	44,697,671
管理経費支出	601,697,000	584,857,307	16,839,693
借入金等利息支出	55,720,000	53,790,572	1,929,428
借入金等返済支出	576,878,000	576,878,000	0
施設関係支出	1,150,225,000	1,149,894,942	330,058
設備関係支出	246,323,000	240,562,282	5,760,718
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	602,742,000	615,759,809	△ 13,017,809
〔予備費〕	0		0
資金支出調整勘定	△ 819,404,000	△ 860,196,557	40,792,557
翌年度繰越支払資金	4,447,669,000	4,782,187,809	△ 334,518,809
支出の部 合計	13,426,287,000	13,638,263,481	△ 211,976,481

事業活動収支計算書

2016 (平成28) 年 4月 1日 から
2017 (平成29) 年 3月31日 まで

(単位 円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	6,248,400,000	6,245,909,308	2,490,692
		手数料	111,378,000	109,483,648	1,894,352
		寄付金	99,453,000	100,598,148	△ 1,145,148
		経常費等補助金	1,538,444,000	1,570,953,724	△ 32,509,724
		国庫補助金収入	607,776,000	627,386,000	△ 19,610,000
		地方公共団体補助金	930,668,000	943,567,724	△ 12,899,724
		付随事業収入	36,843,000	37,168,223	△ 325,223
		雑収入	154,832,000	159,588,985	△ 4,756,985
	教育活動収入計	8,189,350,000	8,223,702,036	△ 34,352,036	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	4,770,498,000	4,745,395,702	25,102,298
		教育研究経費	2,286,184,000	2,240,452,334	45,731,666
		管理経費	646,115,000	632,622,591	13,492,409
徴収不能額等		500,000	230,000	270,000	
教育活動支出計		7,703,297,000	7,618,700,627	84,596,373	
教育活動収支差額		486,053,000	605,001,409	△ 118,948,409	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	972,000	660,934	311,066
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	972,000	660,934	311,066
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	55,720,000	53,790,572	1,929,428
		その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	55,720,000	53,790,572	1,929,428	
	教育活動外収支差額		△ 54,748,000	△ 53,129,638	△ 1,618,362
経常収支差額		431,305,000	551,871,771	△ 120,566,771	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	472,000	472,380	△ 380
		その他の特別収入	21,783,000	23,753,782	△ 1,970,782
		特別収入計	22,255,000	24,226,162	△ 1,971,162
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	26,857,000	26,819,660	37,340
		その他の特別支出	3,360,000	0	3,360,000
	特別支出計	30,217,000	26,819,660	3,397,340	
特別収支差額		△ 7,962,000	△ 2,593,498	△ 5,368,502	
〔予備費〕		0		0	
基本金組入前当年度収支差額		423,343,000	549,278,273	△ 125,935,273	
基本金組入額合計		△ 656,625,000	△ 601,910,004	△ 54,714,996	
当年度収支差額		△ 233,282,000	△ 52,631,731	△ 180,650,269	
前年度繰越収支差額		△ 12,086,377,000	△ 12,086,376,077	△ 923	
基本金取崩額		515,000,000	515,000,000	0	
翌年度繰越収支差額		△ 11,804,659,000	△ 11,624,007,808	△ 180,651,192	
(参考)					
事業活動収入計		8,212,577,000	8,248,589,132	△ 36,012,132	
事業活動支出計		7,789,234,000	7,699,310,859	89,923,141	

貸借対照表

平成29年3月31日

(単位 円)

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定資産		23,070,689,136	22,762,906,092	307,783,044
有形固定資産		22,987,282,717	22,226,693,031	760,589,686
土地		10,252,249,812	10,248,849,812	3,400,000
建物		7,639,722,326	7,530,966,433	108,755,893
その他の有形固定資産		5,095,310,579	4,446,876,786	648,433,793
特定資産		20,360,956	470,360,956	△ 450,000,000
その他の固定資産		63,045,463	65,852,105	△ 2,806,642
流動資産		4,928,751,456	4,066,508,496	862,242,960
現金預金		4,782,187,809	3,664,315,342	1,117,872,467
その他の流動資産		146,563,647	402,193,154	△ 255,629,507
資産の部合計		27,999,440,592	26,829,414,588	1,170,026,004
負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
固定負債		4,521,398,757	4,293,044,024	228,354,733
長期借入金		3,013,557,000	2,691,135,000	322,422,000
その他の固定負債		1,507,841,757	1,601,909,024	△ 94,067,267
流動負債		3,834,927,197	3,442,534,199	392,392,998
短期借入金		477,578,000	505,878,000	△ 28,300,000
その他の流動負債		3,357,349,197	2,936,656,199	420,692,998
負債の部合計		8,356,325,954	7,735,578,223	620,747,731
純資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増減
基本金		31,267,122,446	31,180,212,442	86,910,004
第1号基本金		30,748,122,446	30,146,212,442	601,910,004
第2号基本金		0	450,000,000	△ 450,000,000
第4号基本金		519,000,000	584,000,000	△ 65,000,000
繰越収支差額		△ 11,624,007,808	△ 12,086,376,077	462,368,269
翌年度繰越収支差額		△ 11,624,007,808	△ 12,086,376,077	462,368,269
純資産の部合計		19,643,114,638	19,093,836,365	549,278,273
負債及び純資産の部合計		27,999,440,592	26,829,414,588	1,170,026,004

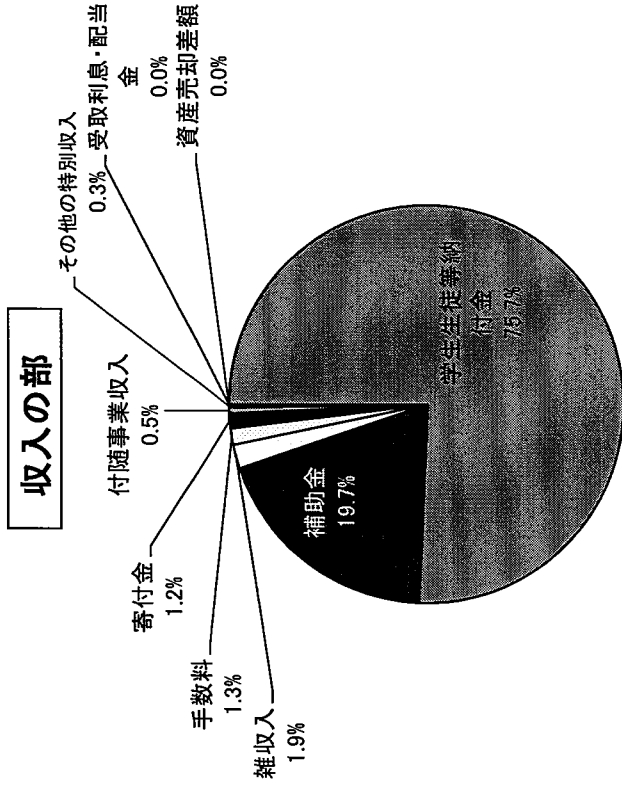
学校法人大阪成蹊学園 財務比率経年比較

	数式 × 100	平成 24年度 決算	平成 25年度 決算	平成 26年度 決算	平成 27年度 決算	平成 28年度 決算
人件費比率	人件費 —— 經常収入	57.3%	57.7%	55.8%	57.0%	57.7%
教育研究経費比率	教育研究経費 —— 經常収入	30.0%	27.9%	26.6%	26.5%	27.2%
管理経費比率	管理経費 —— 經常収入	8.3%	8.4%	8.3%	8.5%	7.7%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 —— 經常収入	75.4%	73.2%	75.3%	76.2%	75.9%
寄付金比率	寄付金 —— 事業活動収入	1.0%	1.6%	1.0%	1.0%	1.2%
補助金比率	補助金 —— 事業活動収入	19.8%	19.7%	19.9%	21.7%	19.1%
基本金組入率	基本金組入額 —— 事業活動収入	3.2%	13.6%	10.5%	16.2%	7.3%
減価償却額比率	減価償却額 —— 經常支出	11.5%	9.0%	8.9%	8.8%	8.2%

平成28年度事業活動収支決算科目別割合

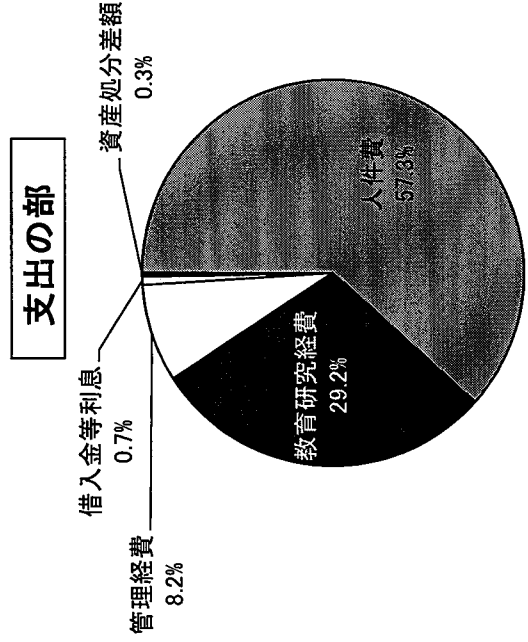
1. 収入の部 (千円以下切捨)

科目	決算額
学生生徒等納付金	6,245,909千円
経常費等補助金	1,570,953千円
雑収入	159,588千円
手数料	109,483千円
寄付金	100,598千円
付随事業収入	37,168千円
その他の特別収入	23,753千円
受取利息・配当金	660千円
資産売却差額	472千円
事業活動収入合計	8,248,589千円



2. 支出の部 (千円以下切捨)

科目	決算額
人件費	4,745,395千円
教育研究経費	2,240,452千円
管理経費	632,622千円
借入金等利息	53,790千円
資産処分差額	26,819千円
徴収不能額等	230千円
事業活動支出入合計	7,699,310千円



学校法人会計の特徴及び企業会計との違い

学校法人が学校経営を行う目的は、教育・研究を推進することで、人材を育成すると共に研究活動を社会に還元することである。学校法人も企業も経済活動を営んでいる点では同じだが、企業は利益の追求を目的としているが、学校法人は教育・研究活動を目的としている。財政構造的にも、企業は「もの」を生産・販売し、投下した資本を回収し、利益を獲得することができるが、学校法人は収入の8割が期の途中で自由に増額することが難しい学生生徒等からの入学金や授業料、国や地方公共団体からの補助金で構成されており、支出面でも教育・研究の発展のために支出を削減することが難しいのが特徴である。企業会計との基本的体系的の違いとして、学校法人会計には企業会計にはない「資金収支計算書」の存在と、教育という公共性の強い事業を行う法人のため、その永續性を重視したことから基本金という概念が導入されている。国や地方公共団体から補助金を交付される学校法人は「学校法人会計基準」に従ってこれらを表示する計算書類を作成し、所轄庁に届け出ることが義務付けられている。計算書類は下記の通りである。

1. 資金収支計算書

- ①当該会計年度に行った教育研究等の諸活動に関する全ての資金の収入及び支出の内容を明らかにする。
- ②諸活動の対応関係に関わらず、現実に収納し、または支払った資金の収入及び支出について、その顛末を明らかにする。

2. 活動区分資金収支計算書

- ①資金収支計算書の決算額を3つの活動区分ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにする。(企業会計でいうキャッシュフロー計算書に相当する。)

3. 事業活動収支計算書

- ①当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにする(企業会計でいう損益計算書に相当するが、学校法人は営利目的ではなく、収支均衡を目的とする。)

4. 貸借対照表

当該年度末における財政状態(運用形態と調達源泉)を明らかにする。